

南アルプスカーボンクレジット

～カーボンクレジット購入（相殺）で、ネイチャーポジティブ企業へ変容する～



悪沢岳（3141m）岩稜からの富士山

HIJIRIDAKE
3013

USAWADAKE
3141

ARAKAWA-DAKE

3084

ARAKAWA-DAKE

3065



30by30



十山株式会社

- 2020年 4月 特種東海製紙(株)の山林管理部門を分社化
ウイスキーと観光の両輪で事業推進
- 2020年11月 井川蒸溜所でウイスキー製造開始
- 2023年10月 自然共生サイト認定
- 2024年 8月 いきもの共生事業所企業林版トライアル認証
(ABINC認証)
- 2024年11月 井川蒸溜所ウイスキー初リリース



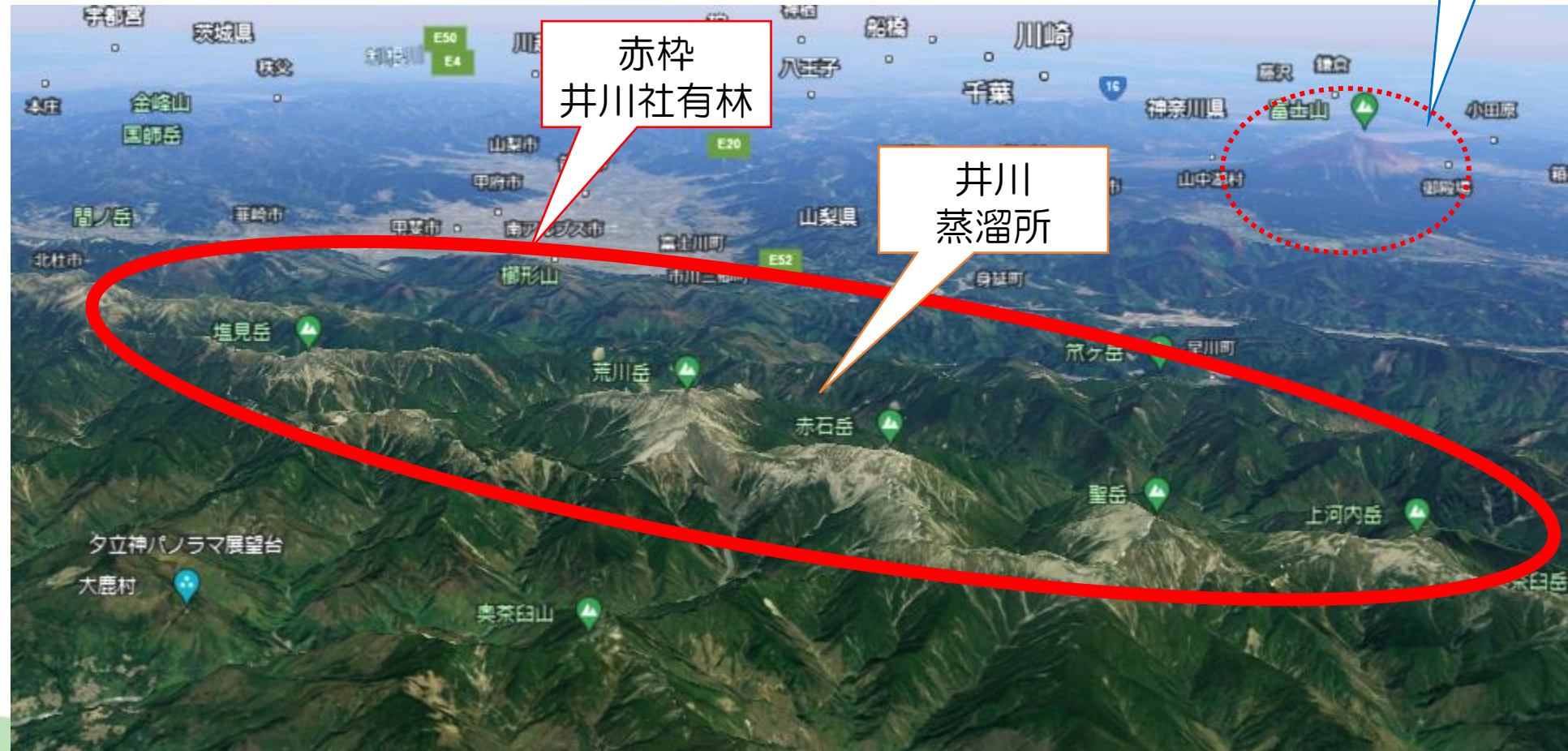
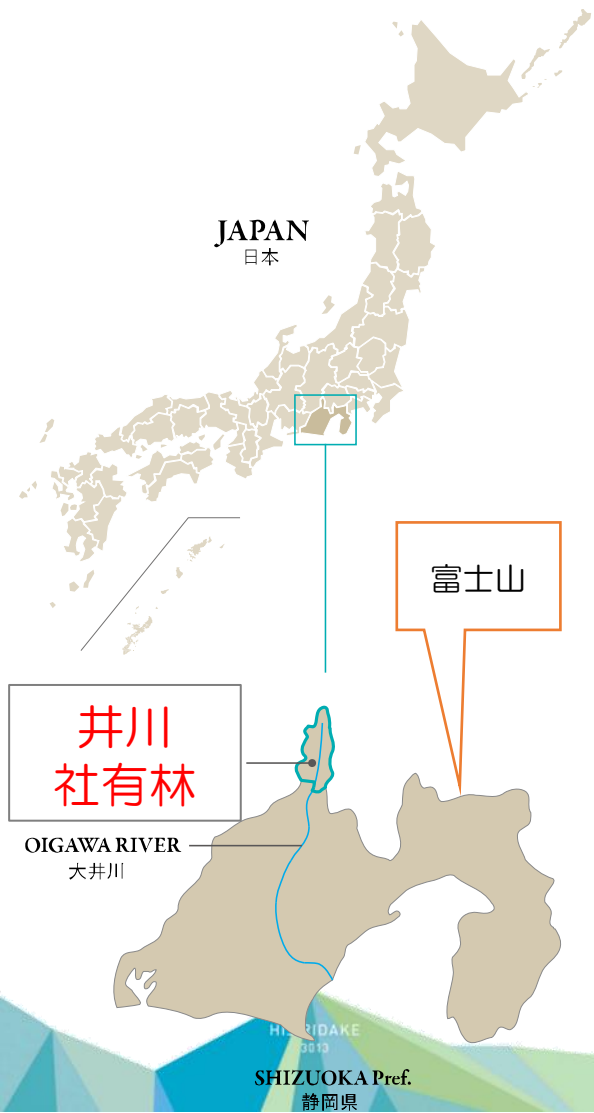
Dessin Series
Flora
Flora & Fauna of the Alps
2024



井川社有林の位置図

“南アルプス” 南部一帯

- 日本は主要国の中で二番目の森林率を誇る国
 その中で、井川社有林は日本が保有する森林面積の1/1000を占める



十山株式会社 会社概要

- 設立 : 2020年4月1日
- 住所 : 静岡県静岡市葵区田代1301番地の1
- 代表 : 代表取締役社長 鈴木康平（上記に現住所移し覚悟を示す）
- 従業員 : 12名（内7名がウイスキー事業）※全員が親会社からの出向
- 資本金 : 9,000万円
- 基本理念 : 「自然を守り、自然を活かす」
- ミッション : 「自然を楽しみ、自然を守る人を育む」
- 活動方針 : 「Sharing the Alps」
- 主な資産 : 南アルプス 井川社有林
- 主な事業 : ウイスキー事業と観光事業
- 株主 : 特種東海製紙(株)（100%出資）

HIMRIDAKE
3013

AKAISHIDAKE
3171

KOAKAISHIDAKE
3091

WARUSAWADAKE
3141
ARAKAWANAKADAKE
3084
ARAKAWAMAEDAKE
3065

特種東海製紙株式会社

■2010年 特種東海ホールディングス(株)による2社吸収合併

特種製紙株式会社（1926年創業）
⇒工業用特殊紙・ファンシーペーパー



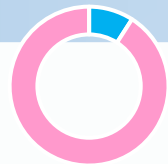
東海パルプ株式会社（1907年創業）
⇒産業用紙（段原紙、クラフト紙）・家庭紙・特殊紙・静岡県を中心に山林を所有



企業理念

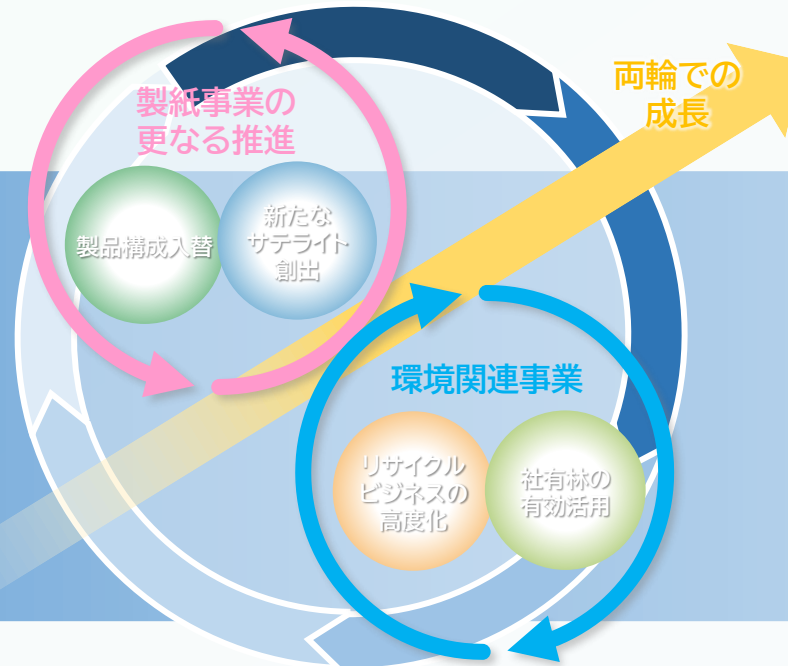
ユニークで存在感のある企業集団として、
社会と環境に貢献する

現状の事業ポートフォリオ



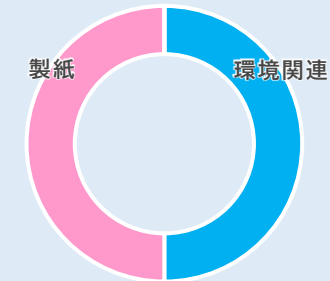
目指すべき企業像

技術と信頼で
顧客と共に未来をひらく
オンリーワンビジネス企業



長期目標

将来の事業ポートフォリオ



社会への提供価値

地球環境との共生

- 脱炭素への貢献
- 自然資本の価値提供
- 資源の有効利用
- 脱プラへの貢献
- 細やかな製品対応、サービス提供

地域・社会との共生

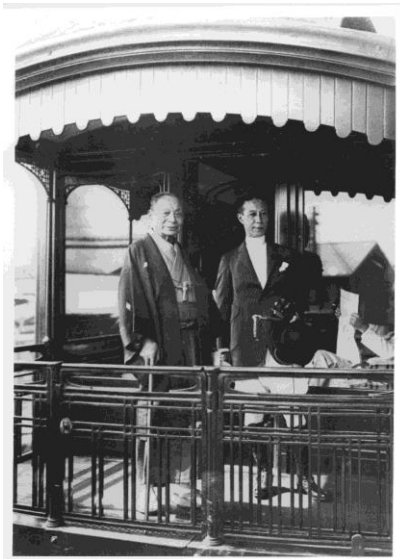
- 文化興隆への支援
- 安全と健康
- 多様な人財の活躍
- 生産性の向上

十山(株)のルーツ (東海パルプ株式会社)

創業者 大倉喜八郎 (井川山林2万5千町歩を5万円で取得)

大倉喜八郎は、大成建設、リーガル、ニッピ、東京経済大学、帝国ホテル等
 約200社の設立に関わる

大倉財閥2代目総帥 大倉喜七郎はホテルオークラを設立



大倉喜八郎と大倉喜七郎



大倉喜八郎 88歳で赤石岳3120m に登頂

十山 井川社有林

◆井川社有林は静岡県の最北端24,430ha
・・・企業が持つ1団地としては国内最大面積

◆『南アルプスカーボンクレジット』は2024年3月12日に登録
2025年2月3日に販売開始
(1,410 t・CO₂/年)

◆クレジット面積に占める天然生林の割合が約93%

◆クレジット収益は、井川社有林の保護・保全に加え、生物多様性や更なる吸収量拡大に活用予定



2. カーボンクレジット創出までの歴史

井川社有林 自然環境関連の歴史

- 1895年 創業者 大倉喜八郎が「井川山林を取得」し木材生産を開始
- 1907年 東海紙料株式会社設立（大井川に於いて水力発電所2基を保有、動力源とする）
- 1964年 厚生省国立公園指定（特別保護区2,354ha、第1種保護区537ha）
- 1970年代 奥地山岳林であること、輸入材の台頭などにより木材生産は競争力を失う
静岡県保安林指定（水源涵養・保険保安6,511ha、土砂流出防備1,231ha）
- 1982年 大型台風（57台風）により林道が壊滅的ダメージを受け、木材生産を休止
- 2011年 リニア中央新幹線が井川社有林直下を通過することが決定
- 2014年 井川社有林山林一帯が「南アルプスユネスコエコパーク」に登録
- 2017年 歴史・現状を踏まえ、井川社有林の大自然を後世に残すことを大前提に、リニア工事による影響を極限まで抑えるための指標として「井川社有林基本計画」を策定し、
基本理念「自然を守り、自然を活かす」を定めた
- 2020年 自然を活かす取組を強力に推進するため静岡市に本籍を置く「十山株式会社」を設立
井川社有林内の井川蒸溜所にて「ウイスキーの製造」を開始
- 2023年 井川社有林のほぼ全域が環境省「自然共生サイト」に認定
- 2024年 「南アルプスカーボンクレジット創出」1,500t・CO2/年
いきもの共生事業所企業林版トライアル認証（ABINC認証）

十山 井川社有林の森林経営概要

クレジット対象



森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

ネイチャーポジティブ：自然生態系の損失を止め回復軌道に乗せること ～生物多様性や自然を蔑にする企業は淘汰される時代に～

地区を米国が所有すると「ナチ兵が生きたことを」の世のアメリカ諸国が態度」を掲げリヌ

「紙ストローは破れる」

【ワシントン＝菅塚智子】 トランプ氏は大統領令のトランプ米大統領は10日、連署名で「紙ストローは機能邦政府機関の施設で紙ストローしない。これまで何度も使っローを廃止し、プラスチックでできたが、破れたり破裂し製ストローの復活を促す大統領令に署名した。内政担当のラスチックのストローに戻大統領補佐官に対し、45日以内」と述べた。「プラスチック内に「紙ストロー廃止の国家が海で泳ぎながら食べている戦略」を策定するよう指示するサメに大きな影響を与えるた。ことではないと思っ」とも語った。

トランプ氏 廃止へ大統領令

大統領令は「ク製ストローンペーン」が業によるプラスチックの禁止をバイデン前政でプラスチックを策を批判し、る。国家戦略ク製ストローを不利策の廃止などを定

2024.2.12 日経朝刊

トランプ氏の存在は後ろ向き・・・
 だが、何時まで続くかは？？？

現在の学校教育で生物多様性を学んでいる世代が大人になればどうなるか？

当たり前前の時代が必ずやってくる。